

令和8年5月13日

各位

会社名 中日本興業株式会社
代表者名 代表取締役社長 貴田 吉晴
(コード番号 9643 名証メイン市場)
問合せ先 取締役 感動創造支援本部本部長
加藤 康章
(TEL 052-551-0274)

特別損失（減損損失）の計上および業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は令和8年3月期決算において、下記のとおり特別損失（減損損失）を計上いたしました。また、令和7年5月13日に公表しました令和8年3月期（令和7年4月1日～令和8年3月31日）の業績予想と、本日公表の実績において差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失（減損損失）の計上

当社は、構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象の最小単位を資産グループとしております。資産グループのうち、市況の悪化等により収益力の低下している飲食店の帳簿価額を回収可能額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に約15百万円を計上いたしました。

2. 令和8年3月期の通期業績予想との差異（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 3,850	百万円 80	百万円 90	百万円 70	円 銭 131.93
実績値 (B)	4,123	164	187	127	240.73
増減額 (B-A)	273	84	97	57	—
増減率 (%)	7.1	105.8	108.0	82.4	—
(ご参考) 前期実績 (令和7年3月期)	3,366	△106	△86	△84	△159.50

3. 業績予想との差異理由

夏休みを中心とする7月～8月の映画興行が好調に推移したこと、および第4四半期の映画興行が当初の予想を上回ったことから、売上高が予想数値を上回りました。その結果、営業利益、経常利益、当期純利益につきましても予想数値を上回りました。

なお、詳細につきましては、本日公表いたしました「令和8年3月期決算短信」をご参照ください。

以上